

シリーズ 8

男女共同参画社会実現に向けて やまなし女性県議会に参加して

男女共生社会の実現に向けて、昨年の全国女性国会に次いで、やまなし女性県議会の開催が企画されました。団体推薦と一般公募併せて四十三名で議会が構成され、県内各地の女性が集い、六月より五回の学習会を経て、九月十一日に開催されました。

私は日ごろ考えている事を発言したいと思い、議会を実感し考える機会を得たいと思い、一般公募として応募しました。運よく当選し、女性県議会の一員として参加できました。女性のパワーはすばらしく、それぞれが問題意識をしっかりと持っている女性ばかりで、山梨県の明日が楽しみです。と実感できました。【教育・社会参画】【生活・環境】【産業・労働】【健康・福祉】の四委員会それぞれで討議し、本会議の質問を検討しました。私は生活・環境委員会に所属し、女性の視点で問題点を話し合いました。そこでゴミ処理の問題とそれから派生する環境の問題が大きな検討内容となり、ゴミ処理の広域化計画における県の基本姿勢を問いました。また生涯学習社会の中で、環境教育の一貫性の必要を訴えました。様々な分野を、女性の視点で問題点を話し発言したわけですが、時間が足りなかった事が残念でした。

男女共生社会を築いていくとき、女性が責任を持って行動していくことは大切なことであり、また難しいことでもあります。「何もそんなにしなくても、今は女にとっていい社会よ」という声もあり、「亭主元気で〇〇〇」という流行語の受けている昨今、男女共生社会をめざすことは、女性もしっかり考え責任を持って社会参画していく努力が大切になると思います。各地に熱い思いで男女共生社会をめざして活動している女性の多いことに力強さを感じ、都留市においても女性市議会の開催を計画し、女性たちの想いを市政に届けたいと考えます。

女性だけでなく、男性と一緒に都留市の将来をしっかりと討議し、自分の問題として全住民が声を出し、行動していくことが市民にやさしい都留市を築いていく基本だと思っています。

現状はあまりにも討議をする場も人も少ないですね。生涯学習の中にその面も組み込み、住民一人ひとりが社会参画できる都留市にむけて一歩ずつ歩めたらすばらしいと、やまなし女性県議会に参加して一層意を強くしました。

One Point Cooking 食生活ひとしめ 16

ほうれん草のカレー

エネルギー

392キロカロリー

カルシウム

254ミリグラム



《作り方》

- 1 ほうれん草は、固ゆでして水気をきり、細かくきざむ。
- 2 玉ねぎ、にんにく、アーモンドは、みじん切りにする。
- 3 2の玉ねぎをきつね色に色づくまで中火でじっくり炒める。
- 4 3へにんにく、肉を入れて炒め、Aと1を加え、混ぜながら中火で煮込み、1/4量煮詰める。
- 5 4を器に盛りアーモンドを散らす。

《材料4人分》

ほうれん草 1束、豚ひき肉 200グラム、玉ねぎ 大1個、にんにく 1片、A(カレールウ 60グラム、トマトケチャップ 大さじ4、カレー粉 適宜、スープ カップ2、スキムミルク 20グラム、牛乳 カップ2)、アーモンド(炒り) 10グラム、油 大さじ1

日本人が世界屈指の長寿でいられる理由のひとつとして、緑黄色野菜を比較的多く食べているということがあげられるでしょう。
今回は、どこの家庭でも人気のカレーに、ほうれん草を使ったメニューです。ほうれん草は、カロチン、ビタミンCを多く含み、これからできる冬物の方が栄養価も高くなります。いろいろな料理を工夫して野菜をたっぷりとりましょう。

食生活改善推進員会宝支部